

# 成果報告書

## 地域部活動推進事業

担当部署	富山県小矢部市教育委員会教育総務課		
所在地	富山県小矢部市	運営形態	地域移行 ・地域文化芸術団体等運営型
運営主体	小矢部市吹奏楽団		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少が進む中、部員数が確保できず廃止となる部活動が増えてきている。</li> <li>・運動部の選択肢も少なくなってきており、生徒の選択の幅が狭まってきている。</li> <li>・学校では、生徒指導や保護者及び地域からの多様な要望に応えるため、教員が時間外勤務で対応せざるを得ないケースが多く、教員にとって部活動は大きな負担となっている。</li> </ul>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化部の中でも特に吹奏楽部について、活動に与える少子化の影響の把握と解決策の検討</li> <li>・教員（顧問）の部活動指導に係る労働時間の縮減</li> <li>・令和3年度開催の部活動のあり方検討委員会の意見、地域運動部活動推進事業を通して洗い出した課題を念頭に、合同部活動を含めた今後の地域移行のあり方の検討</li> </ul>		
団体・組織等の連携			
拠点校等	小矢部市立津沢中学校		
活動場所	小矢部市立津沢中学校体育館、クロスランドおやべ		
活動概要	<p>1. 2年生部員13名全ての生徒及び保護者に同意を得て、2学期(9月)よりこの事業を開始した。最初の1か月間は、生徒や保護者の戸惑いや混乱を避けるため、平日の顧問も休日の活動に帯同した。活動時間は、原則土日のどちらか1日で、午前8時30分から11時00分と定めた。指導者として、市吹奏楽団員の15名が登録しているが、生徒のパートに合わせて、毎回5名程度を派遣し、実技指導を行っている。</p>		

### ○本事業による成果

- ・指導者が積極的に取り組んでおり、生徒や保護者から「うれしい」「毎回楽しみ」という声が聞こえている。パートに合わせた指導を受けることができ、やりがいを感じるようになった生徒もいる。
- ・今後、あらゆる費用が追加で発生するかもしれないことを心配している保護者もいる。
- ・平日は個人練習、休日は市吹奏楽団による全体練習というメリハリのある活動体制となった。
- ・地区アンサンブルコンテストに向けて、平日の顧問と市吹奏楽団員が合同で指導する機会があった(大会前に3回)。
- ・市吹奏楽団の取組の一環として、市ケーブルテレビに活動成果を発表する予定。
- ・顧問は部活動に関する勤務時間の削減ができ、部活動以外のことに時間を費やせたほか、家庭での時間をこれまでよりもつことができた。
- ・学校の施錠の問題で、平日と休日の活動場所が異なっており、現在は生徒が休日前に楽器を移動させなければならない状況である。学校施設の使用や施錠の管理が今後も課題となってくることが判明した。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・市吹奏楽団員で指導に意欲のある15名から、生徒のパートや練習内容に合わせて、毎回5名程度が実技指導に参加している。
- ・平日の部活動では、休日に外部指導者から習ったことを生徒が各自で反復練習し、次の休日部活動に生かすことができるよう、顧問が指導している。
- ・外部指導者は、技術指導以外に楽器のメンテナンス方法等の指導も個別にしている。

## ○運営上の工夫

- ・事業参加にあたり、保護者から「申込書兼同意書」を提出していただき、保険への加入及び緊急連絡先の使用の同意を得ている。緊急連絡網を作成し、外部指導者の代表と顧問が共有している(LINEの整備)。
- ・休日の外部指導者(吹奏楽団)と平日の顧問が電話やメールで情報交換し、進捗状況等について意思疎通している。
- ・学校夜間開放の仕組みを利用し、学校体育館で活動している。外部指導者が、指定の場所で体育館のカギを借りて開錠し、活動後に施錠してカギを返却している。
- ・運動部も含めた「地域部活動検討委員会」を開催し、事業で生じた課題等の解決に向けた協議をしている。
- ・市部活動のガイドラインを遵守し、練習については、土日のどちらか1日で3時間以内を活動時間と定めている。

## ○継続的な運営に関する課題

- ・今後の会費については、従来からの学校部活動の保護者会費に加えて保険料程度と想定している。このことについて、令和5年度以降に保護者会と検討していく必要がある。
- ・休日は、学校夜間開放の仕組みを利用し、学校体育館を使用している。本来ならば平日活動している音楽室を使用したいが、施錠等の問題があるため使用できない。体育館では暑さ、寒さ対策等の課題があることから、学校とも継続して運用方法の検討が必要である(音楽室ならば空調設備あり)。
- ・本市4校を合同部活動とした場合、活動場所の確保や活動場所への移動が求められる。合同部活動の実施については、継続的に検討していく必要がある。
- ・指導のための研修制度等については、今後の課題である。どのような指導資格が必要となってくるのか不明な点が多く、積極的に国や県の助言を仰ぎたい。
- ・継続的な運営にあたり、国県等の各種補助金を活用していくことを検討していく。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

令和4年度は、1学校1文化部(津沢中学校吹奏楽部)についてモデル事業を実施したところである。令和5年度については、令和4年度のような半年間事業でなく、1年生から3年生までを対象にした1年間での実施を計画している。

令和5年度の事業実施にあたり、市内4中学校の合同部活動(吹奏楽)について並行して検討していくこととする。活動場所の問題、移動の問題、大会参加の問題等が出てくると思われるが、市吹奏楽団の意向も確認しながら協議検討していく予定である。

また、休日音楽室を使えない状態については、学校側とも協議し、人的な連携や施設改修など課題解決に向けて引き続き検討していくこととする。

現在は教育総務課が主管となり対応しているが、今後は文化スポーツ課も交えて、運動部関連、文化部関連について積極的に情報共有していく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	13名(津沢中学校部員1.2年生)
	募集方法	夏休み期間を利用し、市、学校、吹奏楽団が生徒、保護者に周知し募集
指導者	人数等	市吹奏楽団員15名のうち、その日の練習内容に合わせて数名を派遣
	募集方法	市吹奏楽団団長が、団員に事業を周知し募集
参加者の移手段		学校外の施設の場合は保護者による送迎
活動費用	指導者謝金等	謝金1,200円/時間 交通費込
	その他	
活動財源	会費	なし
	その他	地域部活動推進事業委託費 小矢部市事業委託費
スケジュール	基本活動	原則、土日のどちらか1日 午前8時30分から11時00分
	年間	9月から1月まで19回活動(2、3月9回の見込み)
保険加入等		スポーツ安全保険 部員数13名 指導者11名(生徒、指導者ともに800円/年) 県の事業費より捻出

【活動の様子（写真添付）】

